

## 財団法人茨城カウンセリングセンター

[法人の概要]

平成17年7月1日現在

代表者名	関正夫 (非常勤)	県所管部課	商工労働部 労働政策課	
所在地	水戸市桜川 2-2-35	電話番号	029-225-8580	
ホームページURL	<a href="http://www.sunshine.ne.jp/~iccnet">www.sunshine.ne.jp/~iccnet</a>	E-mailアドレス	<a href="mailto:iccnet@sunshine.ne.jp">iccnet@sunshine.ne.jp</a>	
資本金(基本財産)	114,539 千円	設立年月日	平成 8年 4月 18日	
主な出資者	出資順位	出資者名	出資額	出資比率
	1	(社)茨城県商工経済会	32,539 千円	28.4 %
	2	(株)常陽銀行	30,000 千円	26.2 %
	3	茨城県	10,000 千円	8.7 %
	4	関彰商事(株)	3,000 千円	2.6 %
	5	(株)茨城木材相互市場	3,000 千円	2.6 %
	その他	12 団体	36,000 千円	31.4 %
設 立 的 目 的	平成8年に(社)茨城県商工経済会が解散し、(社)茨城県経営者協会と統合したことに伴い、内部組織であった「人間関係研究所」を県内企業の出損により財団法人化した。この際茨城県も10百万円出損している。なお、県では別途昭和56年より、メンタルヘルス支援事業により補助金を交付している。当財団では、地域産業界の福祉に関する基礎的調査研究及び啓発事業を行い、その成果を広く地域に提供すること、及び勤労者をはじめ広く県民の心の悩みに対応したカウンセリングを実施し、豊かでゆとりある職場づくりに寄与することを目的にしており、県の施策実現の一翼を担っている。			

[事業の概要]

事業名	平成17年度事業費	内 容
事業1 カウンセリング	12,100 千円	職場や家庭での人間関係をはじめ、日常のくらしの中で発生するところの悩みに対応する。面談によるカウンセリングでこころの健康をサポートする。現に悩みを持っている方、またはその周囲の方等を中心に、広く地域社会に開かれ共同で利用できるカウンセリング機能を提供する。
事業2 講座・セミナー主催	12,750 千円	自己理解を深め、他の人との人間関係をスムーズにすることで、生き生きとした関わりを持てるようになるためのカウンセリングの考え方や手法を学習体験できる各種講座・セミナーを開催する。対象を特定せず、広く一般県民に参加を呼びかけている。
事業3 講師派遣・コンサルティング	5,700 千円	企業や団体等からの要請に応じ講師を派遣する。厚生労働省の施策を踏まえ、職場におけるメンタルヘルスケアの基本的考え方、仕組み作りや具体的勧め方等を講演を通してアドバイスする一方、必要に応じ直接指導も実施する。加えてメンタルヘルス全般のコンサルティングを行う。

[組織]

7月1日現在の人数	年度	平成15年			平成16年			平成17年		
		県派遣	県OB		県派遣	県OB		県派遣	県OB	
役員	常勤理事	2	0	0	2	0	0	2	0	0
	非常勤理事	14	0	0	14	0	0	14	0	0
	常勤監事	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	非常勤監事	2	0	0	2	0	0	2	0	0
	計	18	0	0	18	0	0	18	0	0
職員	管理職	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般職	3	0	0	2	0	0	2	0	0
	臨時職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	嘱託職員	0	0	0	1	0	0	1	0	0
	計	3	0	0	3	0	0	3	0	0
当期常勤職員の年齢構成	20代以下	30代	40代	50代以上	合計	平均年齢	平均勤続年数			
		1		2	3	45歳5月	6年10月			

## [収支の状況]

財団法人茨城カウンセリングセンター

(単位:千円)

区 分		平成14年度	平成15年度	平成16年度
収 支 の 状 況	収入合計	45,186	44,082	40,653
	事業収入	25,713	27,287	25,922
	事業外収入	19,473	16,795	14,731
	支出合計	44,160	42,557	41,500
	事業支出	30,368	30,031	29,639
	事業外支出	13,792	12,526	11,861
	うち管理費	12,192	11,106	9,888
	うち人件費	32,921	31,645	30,637
	当期収支差額	1,026	1,525	-847
	正味財産増加額	0	0	0
	正味財産減少額	0	0	0
	当期正味財産増減額	1,026	1,525	-847
	前期繰越正味財産	122,843	123,869	125,394
期末正味財産	123,869	125,394	124,547	
財 産 の 状 況	資産	151,342	147,995	148,920
	流動資産	9,330	11,055	10,630
	固定資産	142,012	136,940	138,290
	負債	27,473	22,601	24,373
	流動負債	0	200	622
	うち短期借入金	0	0	0
	固定負債	27,473	22,401	23,751
	うち長期借入金	0	0	0
正味財産	123,869	125,394	124,547	

## [財的関与の状況]

(単位:千円)

区 分		平成14年度	平成15年度	平成16年度
財 的 関 与 状 況	補助金	3,000	3,000	3,000
	委託金	510	546	384
	貸付金			
	計	3,510	3,546	3,384
	財的関与の割合(%)	8%	8%	8%
	損失補償・債務保証			

## [平成16年度の補助金等の目的・内容等]

支 出 項 目	目 的 ・ 内 容 ・ 効 果
補助金	こころの健康対策を図るため、中小企業労働者等に対する相談啓発事業の物件費の一部を補助している。カウンセリングのみならず、マインドが浸透することにより、広く県民の悩み解消に寄与している。
委託金	茨城県職員と教職員のメンタルヘルス対策の一環として、こころの悩みに対応した相談機能を提供すべく委託し、カウンセリングを実施している。16年度の相談は延べ122件
貸付金	無し

[評点集計]

評価の視点	評価項目数	評点	満点	得点率
計画性	4	8	8	100.0%
目的適合性	5	4	14	28.6%
組織運営の適正性	4	6	8	75.0%
健全性	11	8	40	20.0%
効率性	8	2	28	7.1%
合計	32	28	98	28.6%

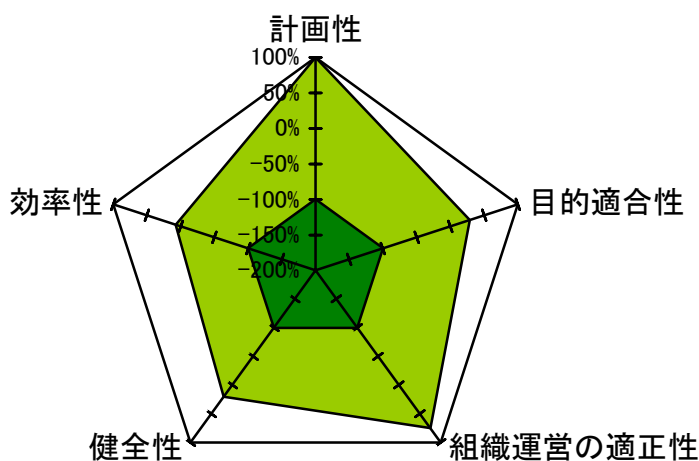
公益法人会計用

財団法人茨城カウンセリングセンター

警戒指標

--

経営評価レーダーチャート



《評価の視点》

計画性	経営目的、経営方針が各種計画に反映され、計画・実行・見直しが行われているか
目的適合性	法人が行っている事業と当初の設立目的が適合しているか
組織運営の適正性	組織、人事、財務等の内部管理体制が適切に整備・運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切か
健全性	法人の財務体質が健全であるか、また、各事業の採算性がとれているか
効率性	組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているか

各評価項目については、「出資法人等経営評価指標及び評価基準等」を参照

[法人の自己評価(経営概況, 経営上の課題, 対策等)]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
財団設立目的を実現するための事業を中心に企画し活動している。事業内容は選択肢が限られるため、おのずと限定的となり事業量や収入も一定範囲内にある。	メンタルヘルスの重要性がますます高まっており、こころの悩みに対応したカウンセリングへの希求が強い。県民に開かれた相談機関としてセーフティネットの機能を果たしている。	人員構成で少人数・高齢化が課題であるが、業務の量や質に照らして増員や若年者の採用が必ずしも良策とはいえない。情報公開は、個人情報に関するものを除き引き続き実施してゆく。	会員組織の年会費収入により収支バランスが保たれる仕組みであったが、企業の体力低下から退会が相次ぎ慢性的収入不足にある。退会防止と入会勧誘の活動を継続する。財団のPRにつながる講演活動にも注力する。	業務の特性から支出の70%超が人件費である。円滑な事業活動・組織運営の最低水準であり、支出額は平均的水準である。事業費、管理費の削減はほぼ限界に近く余地少ないが、随時見直しを実施する。
今後の事業展開の方向	「こころの悩み」に対するカウンセリング機能を提供するという設立目的を実現するため、当初よりカウンセリングおよびカウンセリングマインドの普及を柱に事業展開してきている。時代の要請でもあるメンタルヘルス対策に各事業所が苦慮している現状からも、カウンセリングによるケアは大きな期待をもたれており、当センターに対する期待も同様に大きい。引き続きこれまでと同様の方針で活動し、県民の心の健康維持に寄与してゆく。講座・セミナーの受講申込が漸減傾向にあるも、カウンセリングマインドを普及していく上で有効な方法であることから、採算性も考慮しながら内容の検討と広報のあり方等も検討してゆく。			

[法人を担当する課の意見]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
経営基本計画、中長期計画、年次計画に基づき計画的に事業を実施している。当財団の事業は年々潜在的な需要が増えていると考えられ、今後もニーズに合った事業展開を行う。	様々な原因からうつ症状を訴える労働者が増加しているなど、カウンセリングの必要性は高まっており、誰もが安価で利用できる当財団の役割は益々増大するものと思われる。	カウンセラーの高齢化は引き続き問題となっているが、若手カウンセラーの育成にあたる資金的、人的な余裕も少ない。	事業収入は安定しているが、会費収入の減が依然として経営を圧迫している。会員の確保についてが引き続き課題となっている。	事業の性質上、効率性を追求することが困難である。管理費等については、事務職員を嘱託とするなど削減努力を行っている。
	推進事項		取組み状況	
第三次行財政改革大綱に係る取組状況				
法人担当課の意見	<p>当財団は、設立以来、広く地域にメンタルヘルス機能の提供を行い、県内におけるこころの健康対策の中核的な役割を果たしており、また、講座の内容等については、ニーズにあった事業展開に努めている。</p> <p>近年は、経済状況等の影響から会費収入が減少しているが、よりいっそうのメンタルヘルス対策が求められる状況でもある。</p> <p>県内のメンタルヘルス対策をより一層推進するためにも、経営安定、会員確保に努められたい。</p>			

[総合評価]

取組みを強化すべき視点	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">計画性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">目的適合性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">組織運営の適正性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">健全性</div> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">効率性</div> </div>
総合的所見等	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">概ね良好</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">改善の余地がある</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">緊急の改善措置が必要</div> </div> <p>企業間競争の激化等が進み、長時間労働に伴う健康障害の増加など労働者の生命に関わる問題が深刻化していることから、当法人の果たす役割は重要性を増している。引き続き、利用者のニーズのよりの確な把握による相談機能の強化を図るとともに、法人の積極的なPRに努め県民福祉の向上に寄与されたい。</p> <p>なお、カウンセラーは専門性が高く、人材の養成には時間を要するが、後継者の養成について検討をする必要がある。</p>
総合的所見等に係る対応	<p>当法人では、労働者やその家族のこころの健康を守るため、個別カウンセリングの実施及びカウンセリングマインドの普及を行っており、今般の社会情勢からその需要は増加している。</p> <p>今後とも、広くこころの健康対策に資するよう、業務の機能強化及び活動の普及啓発について指導していく。</p>

< 財団法人茨城カウンセリングセンター から県民のみなさまへ >

<p>当センターは、県民の皆様がどなたでもお気軽に利用できる開かれたカウンセリング機関として、皆様のこころの健康を守るお手伝いをしております。</p> <p>どのような悩みでも、カウンセラーが親身になっておうかがいしますので、気軽にご相談ください。</p> <p>悩みはひとりで背負わずに、当センターをサポートシステムとしてご利用ください。</p> <p style="text-align: right;">平成18年2月 専務理事 加瀬 信昭</p>
---